

想隆社 代表取締役 山本幸太郎について

山本幸太郎略歴

1976 年生まれ。香川県出身。早稲田大学理工学部卒業。早稲田大学ではロボット工学を、東京工業大学大学院（知能システム科学専攻、中途退学）では現在のいわゆる人工知能について学ぶ。教育系専門出版社、デジタル音楽配信ベンチャーの CTO 等を経て、現在、教育・出版専門のシステム開発会社である想隆社 (<https://soryu-sha.jp/>) 代表取締役を務める。

活動一覧

■専門領域

- 情報システム開発（設計から制作まで）
- 教育 ICT、電子出版におけるアクセシビリティ（特に IT 技術を使った視覚障がい者への文字情報のアクセシビリティ）
- 図書館、文化施設におけるデジタル化（アーカイブ、アクセシビリティ対応）
- 音楽配信、電子出版等デジタルコンテンツビジネスにおける著作権等知的財産権の実務

■教育・研修等

2020 年 電子情報通信学会 「電気・電子系高度技術者育成プログラム」講師（予定）
2016 年～現在 早稲田大学 非常勤講師（グローバルエデュケーションセンター）
2012 年 中央大学『情報システム設計論』特別講師 「電子書籍が変える出版ビジネス」
2011 年～2012 年 日本電子専門学校 特別講師「業界研究」
2011 年 基金訓練「電子書籍クリエイター養成科」テキスト監修

■専門家

2020 年 6 月 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 技術審査専門員
2019 年～現在 一般社団法人 ファーストスタープロジェクト理事 (<http://fstar-p.jp/>)
2016 年～2017 年 一般社団法人 電子出版制作・流通協議会 主任研究員
2016 年～現在 明治大学サービス創新研究所客員研究員 (<http://service-innovating.jp/>)
2014 年～2016 年 明治大学文明とマネジメント研究所客員研究員
2015 年 JICA のプロジェクトインドネシア教育省の教育 ICT システムの設計について調査報告を担当

■講演・研究発表

2019 年 論文：湯山、篠塚、山本「中国語宅配学習アプリの開発と試用 ～ LINE BOT お

友達機能を利用したクイズアプリ「小游」 ～」電子情報通信学会技術研究報告 思考と言語

2018年2月 講演：日本電子出版社協会（JEPA）『世界の PubTech 紹介セミナー』

<https://www.jepa.or.jp/sem/20180221/>

2016年 講演：埼玉県図書館協会 「ナカバヤシによる資料デジタル化の実践事例について」

2015年12月 講演：第50回 出版UD研究会 「デジタル書籍のアクセシビリティはどこまで実現しているのか」

2015年6月 発表：早稲田大学応用言語学研究「音声コーパス貴重音源コレクションの開発」

2015年10月 発表：第101回図書館大会 東京大会「キュメント コンテナ for ライブラリの取り組み -まんのう図書館の事例-

2014年 電子出版制作・流通協議会 教育ICT勉強会 座長

2013年 JAGAT（公益社団法人日本印刷技術協会）Page2013 講演「音声読み上げ電子書籍の効果と可能性」

2011年6月 講演：日本書籍出版協会 「電子書籍の契約の留意点-エージェント契約とホールセラー契約」

■執筆・寄稿

寄稿：『電子出版への道 -OnDeck アーカイブ Vol.1-』（インプレスムック）

■その他（企業コンサルティングなど）

新規サービス立ち上げにかかわる法的、技術的アドバイス（顧問契約、上場企業）

先進的分野の技術顧問（ITベンチャー）

講演、執筆の依頼は offer@soryu-sha.jp まで。